



2024 年次報告書

公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ



当法人の活動をご支援くださっている皆様

楽しみに待ってくださっている方がおられたら嬉しいのですが、今年も笑顔いっぱいの年次報告書をお届けいたします。皆様には、まずページをめくって子ども達の写真を見ていただきたいと思います。治すことが難しい病気や重い障がいがあっても、旅行中に子ども達はこんなにも素敵な笑顔を見せてくれます。そしてご家族も何て優しい表情をされていることでしょう。皆様からいただいたご支援なくしては、このような素晴らしい体験をしていただくことはできません。改めて御礼申し上げます。

さて当法人が2007年に前身の法人を設立してから、早いもので18年になります。この間、活動を自粛せざるを得ない時期もありましたが、ここ数年は全国からかつてない速いペースでお申し込みをいただいております。嬉しく思う一方で、実際の旅行まで長い期間お待たせしてしまうこともあることを申し訳なく思っております。中にはその間に病状が進んでしまう子どもさんもおられ、旅行のスケジュール調整に苦心することも増えています。この課題を解決するため当法人では組織体制の強化を計画中です。もうしばらく時間をいただきたく思います。

皆様も感じておられるように現代はあらゆる領域で変化が激しく、医療や福祉の現場も例外ではありません。長く現場で活動してきた私たちでも10年先、20年先のありようを見通して準備をしておくことは容易ではありません。ただどんな時代であっても難病の子ども達がいること

に変わりはありません。私たちには彼らに必要とされる限り、活動を継続していく覚悟があります。多くの皆様からのご助言もお待ちしております。



私たちはこれからも全ての子ども達が笑顔で日々を過ごしていけるよう活動を続けていく所存です。皆様にはお願いばかりで心苦しいのですが、より一層のご支援をいただけましたら幸いです。

理事長 天野 功二

法人概要

法人名	公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ
設立	2007年5月27日 特定非営利活動法人（NPO法人） 難病児の夢と親子のハートフル・ホリディ IN TOKYO
沿革	2009年2月9日 一般社団法人 ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO 2015年3月26日 公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO 2025年2月28日 公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ（名称変更）
代表者	理事長 天野 功二
所在地	〒157-0073 東京都世田谷区砧5丁目8-31 M1号室 Email : adad-contact@guesthouse.or.jp TEL : 03-6411-1404 / FAX : 03-6411-1407
事業内容	3歳以上から18歳未満の難病児*とご家族を素敵な東京旅行にご招待しています。 *発病の原因が明らかではなく、かつ治療方法が確立していない希少な疾病であり、当該疾病にかかることにより長期にわたり療養を必要とすることとなる小児期発症の慢性疾病（児童福祉法〔昭和22年法律第164号〕第21条の5）。 厚生労働大臣により、小児慢性特定疾病は16疾患群801疾病（2025年4月時点）が指定されています。

役員紹介

理事長	天野 功二	医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所しずおか 院長
副理事長 渉外担当理事	掛江 直子	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 生命倫理研究室長／小児慢性特定疾病情報室SV
専務理事	武永 正人	元 株式会社ニチレイバイオサイエンス 取締役会長
理事	岡部 明代	AO 法務行政書士事務所
理事	金延 純男	AIRUCA株式会社 代表取締役
理事	阪井 裕一	埼玉医科大学総合医療センター 小児科 客員教授
理事	佐原 康之	昭和大学横浜市北部病院こどもセンター
理事	中村 知夫	医療法人社団のびた あのねコドモくりにつく 国立研究開発法人 国立成育医療研究センター シニアフェロー
監事	一家 明成	オルガン化粧品リゾート株式会社 代表取締役 ジャパンセントラル株式会社 代表取締役
顧問	紀藤 正樹	リンク総合法律事務所 弁護士

一般社団法人化して15周年 公益社団法人化して10年という記念の年でした

当法人は、2007年に特定非営利活動法人 難病児の夢と親子のハートフル・ホリディ IN TOKYOとして活動をスタートさせました。2009年に一般社団法人 ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYOと名称を改め、さらに2015年に公益認定を受け、公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYOとして活動して参りました。

皆様のご支援に支えられ、2024年2月で一般社団法人となって15周年、2025年3月には公益社団法人に移行して10周年の節目を迎えました。これを機に、活動をさらに広げ、より多くの難病児とご家族を支援することを目指して、法人名称から「IN TOKYO」を外して、「公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ」に名称変更を行いました。

当法人は、医療的ケアが必要だったり症状の重い病児や治癒が難しく命に危機のある3～18歳の難病

児とご家族を、全国各地から東京近郊の家族旅行にご招待し、難病の子どもとご家族の夢を叶え、貴重な思い出づくりをお手伝いすることで、明日を生きる勇気と希望につなげていく活動をしております。また、この活動に参加して下さる多くのボランティアさんと共に、心のバリアフリー、誰もが生きやすい社会への変革を目指して地道な取り組みを行っております。

病気の種類も症状も異なる病児たちの受入れはフルオーダーです。病児とご家族が家族旅行を安心安全に楽しめるように、法人内の小児科医チームと協議しながら、必要に応じて医療者の同行や様々な医療的配慮を行い旅行の手配を行っています。滞在中の緊急対応および必要な介助支援等、医療的サポートも含め対応しているのが当法人の特徴です。

名称変更に伴いロゴを変更いたしました

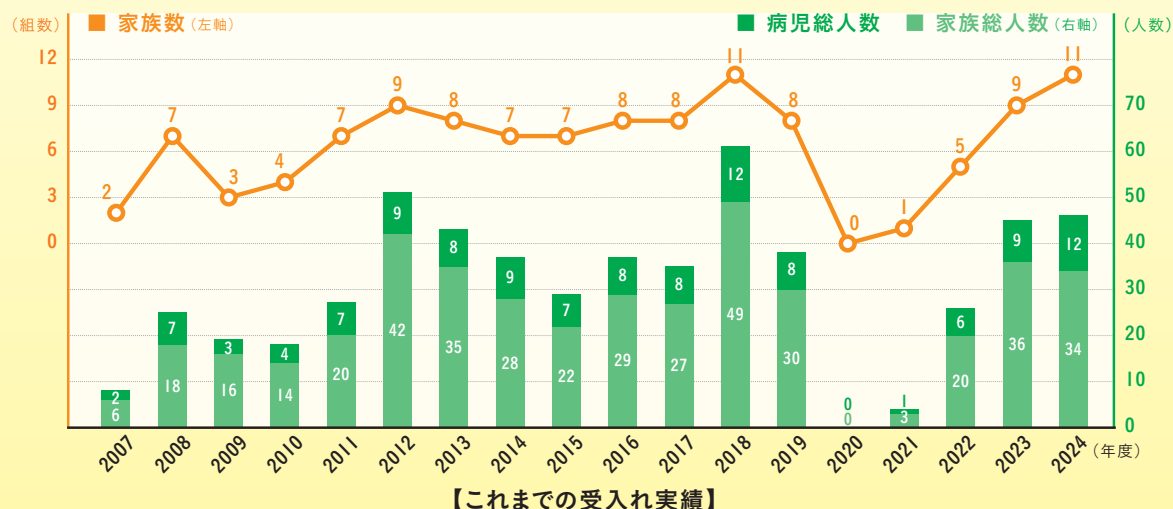
今まで使用しておりました法人のロゴを、名称変更に伴い変更いたしました。
ロゴ作成は「インサイドアジア・ツアーズ・リミテッド様」よりご支援いただきました！



難病児とご家族に夢の旅行を
公益社団法人
ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO



難病児とご家族に夢の旅行を
公益社団法人
ア・ドリーム ア・デイ



2007年 特定非営利活動法人 難病児の夢と親子のハートフル・ホリディ IN TOKYO 開設

2007年度 受入れ：2家族2病児（広島1、和歌山1）

2008年度 受入れ：7家族7病児（沖縄1、岡山1、兵庫1、和歌山3、静岡1）

2009年 一般社団法人 ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO へ 社団法人化および名称変更

2009年度 受入れ：3家族3病児（大阪1、愛知1、富山1）

2010年度 受入れ：4家族4病児（沖縄1、和歌山1、北海道2）

2011年度 受入れ：7家族7病児（沖縄1、鹿児島1、兵庫1、島根1、大阪1、北海道2）

2012年度 受入れ：9家族9病児（沖縄2、鹿児島1、宮崎1、兵庫1、和歌山1、愛知1、岐阜1、茨城1）

2013年度 受入れ：8家族8病児（沖縄2、鹿児島3、宮崎1、兵庫1、北海道1）

2014年度 受入れ：7家族9病児（沖縄2、鹿児島2、宮崎4、大阪1）

2015年 公益認定を受け、公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ IN TOKYO へ

**50家族50病児
ご招待達成！**

2015年度 受入れ：7家族7病児（沖縄2、鹿児島2、宮崎2、北海道1）

2016年度 受入れ：8家族8病児（宮崎3、宮城2、熊本1、岡山1、東京1）

**2017年 病児の移動に同行する小児科医師のボランティア増員
（東京都立小児総合医療センター集中治療科・救急救命科の医師4名）**

2017年度 受入れ：8家族8病児（沖縄1、宮崎3、大分1、熊本1、宮城1、福島1）

2018年 複数家族の同時招待を初めて実施し、家族同士の交流の場づくりに取り組む

2018年度 受入れ：11家族12病児（沖縄3、大分1、福岡1、岡山1、兵庫1、三重3、群馬1、埼玉1）

2019年 新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、2020年春以降の旅行ご招待の延期・見合わせ

2019年度 受入れ：8家族8病児（沖縄4、鹿児島1、大分1、熊本1、大阪1）

2020年度 受入れ：0家族（新型コロナ感染症の感染拡大により受入れ見合わせ）

**2021年 コロナ禍での新たな支援の取組みとして
贈り物事業（病児とそごきょうだいにご家庭で楽しめる工作キットを贈る）を実施**

2021年度 受入れ：1家族1病児（兵庫1）

2022年 事務所移転

政府による行動規制解除に伴い、旅行支援事業 再開（待機頂いている病児ご家族よりご招待）

2022年度 受入れ：5家族6病児（沖縄2、茨城2、兵庫2）

2023年度 受入れ：9家族9病児（熊本1、岡山1、鹿児島1、福島1、福岡2、三重1、沖縄1、宮崎1）

**100家族100病児
ご招待達成！**

**2024年 一般社団法人となって15周年（2024年2月）
公益社団法人となって10年（2025年3月）
公益社団法人 ア・ドリーム ア・デイ へ名称変更**

2024年度 受入れ：11家族12病児

（沖縄3、鹿児島2、熊本1、大阪2、東京1、茨城2、福島1）

※（ ）内は病児の人数

**120病児
115家族
全招待者数
548名**

全国24都道府県から受入れ

（2024年度末時点）

15周年記念チャリティグッズ販売

15周年記念企画と致しまして、2025年3月3日～3月9日の1週間限定チャリティーとして京都発のチャリティー専門ファッションブランドJAMMIN (ジャミン) とのコラボレーションを行い、チャリティグッズ (Tシャツ、パーカー、スウェット、トートバック、ポーチなど) 販売を行いました。

Tシャツなど1アイテムのご購入につき700円が私たちの活動に寄附され、今回のチャリティーでは

総額 **211,390** 円のご寄附を頂戴いたしました。

ご協力くださいました皆様に、
心より感謝申し上げます!

Design //



いろんなお花が、手を取り合って笑顔で歩いていく姿を描いたデザインです。難病のこどもとご家族は お花たち、この活動を支援してくださるたくさんのあたたかい支援は太陽、夢の旅行での貴重な体験は水 (しずく) や太陽の光、花たちは太陽や水を受けることで未来に向かって成長し、つぼみは花へと開いていきます。夢を叶えるわくわく感と歩みを前へ進めるイメージに、“Follow your heart and dreams” (あなたの心と夢に従って) というメッセージを添えていただきました。



チャリティグッズで記念写真!
ご支援くださいました皆様に感謝をしつつ、
引き続き法人一同頑張って参ります!



みんなお揃いで家族旅行！

普段とまた違う
思い出ができました



大容量で仕事で使用！



お揃いのTシャツで



難病の子に旅行を

グッズ・チャリティー販売

公益社団法人 支援を呼びかけ

難病の子とその家族に旅行をプレゼントしている公益社団法人「ア・ドリーム ア・デイ」(世田谷区)が、期間限定でオリジナルグッズをチャリティー販売し、活動への支援を呼び掛けている。

難病治療に従事する医師らが2007年に活動を始め、これまでに全国の111家族を無料で東京旅行に招待

した。人工呼吸器が欠かせない子や、国内に数例という先天性疾患の子もいる。

費用は家族旅行一回で100万円前後かかる。寄付金で賄っている。

テーマパークなどの行きたい場所や宿泊施設には、事前に連絡して受け入れ態勢を整えてもらい、医療者を含むスタッフが同行サポートする。病児のきょうだいが思い切り体を動かして楽しめるような工夫もしている。

販売は9日まで。チャリティー専門ファッションブランド「JAMMIN」のウェブサイトで取り扱っている。問い合わせはア・ドリーム ア・デイ(03・6411・1404)。



チャリティー販売されているTシャツ。花たちが手を取り合って歩くオリジナルイラストをあしらっている「ア・ドリーム ア・デイ」提供

毎日新聞にて 3月6日朝刊の都内面 および 電子版に掲載していただきました。



まずはみんなで
記念撮影



2024年度 活動報告

旅行招待事業

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の流行による活動自粛の間に待機いただいております病児ならびにそのご家族を優先し、2家族の日帰り旅行も含め13家族の受入れ調整を行いました。2家族が病児の体調悪化のため直前キャンセルとなったため、12病児11家族を家族旅行にご招待いたしました。

旅行中は、福祉車両などの移動用車両のドライバーは株式会社セーフティより人材提供を頂きました。また、旅行中のアテンドは、社会人ボランティア(三菱重工業株式会社、三菱製鋼株式会社、井上電気株式会社、SMBC日興証券株式会社、MS&ADゆにぞんスマイルクラブ、その他個人登録ボランティア)と看護師などの医療ボランティアが担当し、病児やごきょうだい、ご家族のおもてなし、写真撮影、医療機器の搬送など、快適で楽しい時間をサポートして頂きました。ボランティアの皆さまのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

大好きな家族との旅行
ワクワクで
思わず笑顔に♪



新幹線では、多目的ルームでゆったりと。飛行機ではストレッチャーや座席に固定して移動。



キャラクターに会えて笑顔 😊



旅行中は福祉車両で移動します。



2024年5月7日～5月10日：3泊4日

鹿児島県より、病児とごきょうだい、ご両親、祖母の5名をご招待いたしました。どの訪問先でもみんな楽しまれておりましたが、ハリーポッターでのほうき撮影体験やディズニーシーでは昔好きだったアトラクションに何度も乗って楽しそうにされていたのが印象に残りました。この旅行を機に、もっといろんな体験をさせてあげたいと話されていました。

【旅程】

- 1日目：海ほたる、スカイツリー(写真撮影)、ソラマチ
- 2日目：東京ディズニーシー
- 3日目：ワーナーブラザーズスタジオツアー-東京
- 4日目：東京駅、仲町通り、チームラボボーダレス



2024年6月17日～6月19日：2泊3日

沖縄県より病児とごきょうだい3名、ご両親の6名をご招待いたしました。多くの医療的ケアを要し、医療ボランティアの協力も受けながら楽しんで頂きました。はじめての家族旅行できて良かったと話され、ミッキーに会えた時に感動して涙されていたことは印象的でした。

【旅程】

- 1日目：横浜アンパンマンこどもミュージアム、スカイツリー(写真撮影)
- 2日目：東京ディズニーランド
- 3日目：東京タワー、チームラボボーダレス



2024年7月2日～7月5日：3泊4日

沖縄県より病児とご両親の3名をご招待いたしました。各施設のエレベーターや劇団四季ライオンキングで病児が楽しそうにされていた表情がとても印象に残っています。妹さんご家族も合流され、夫婦そろってコースター等アトラクションを体験できたことも大変喜んでいただきました。

【旅程】

- 1日目：プラネタリア東京、スカイツリー(写真撮影)、ソラマチ
- 2日目：東京ディズニーランド
- 3日目：フジテレビ、劇団四季ライオンキング
- 4日目：チームラボボーダレス



動物へのエサやりや
お魚たちに夢中!!



パレードやアトラクションも
思いっきり楽しんで



2024年9月24日～9月26日：2泊3日

熊本県より病児とごきょうだい2名、ご両親の5名をご招待いたしました。アトラクションも多数体験し、周りをしっかり見ながらニコニコ笑顔をたくさん見せてくださいました。ごきょうだいがお小遣いで病児へのプレゼントやお母さんへのサプライズなどされていたのも印象的でした。

【旅程】

- 1日目：東京ディズニーランド
- 2日目：東京ディズニーシー
- 3日目：すみだ水族館、スカイツリー(写真撮影)、ソラマチ



2024年10月18日～10月20日：2泊3日

鹿児島県より、病児とごきょうだい、母親の3名をご招待いたしました。パレードやアトラクションなど多数体験いただきましたが、病児はポケモンGOやポケモンカード集めが大好きであり、ディズニーやホテルなどで一緒にポケモンバトルを行ったことがとても印象に残っています。

【旅程】

- 1日目：東京ディズニーランド
- 2日目：東京ディズニーシー
- 3日目：自由の女神像、ダイバーシティ東京プラザ、東京ラーメン国技館 舞



2024年11月12日～11月15日：3泊4日

大阪府より、病児とごきょうだい、ご両親の4名をご招待いたしました。大好きな動物に目を輝かせて喜んでいたりショーを見て終わるのが悲しくて泣いていたことがとても印象に残っております。ごきょうだいまもジェットコースターやシューティングゲームなどボランティアさんと一緒に楽しまれており、大人になったら、今度は自分がボランティアをしたいと話されていました。

【旅程】

- 1日目：市原ぞうの国
- 2日目：東京ディズニーランド
- 3日目：東京ディズニーシー
- 4日目：藤子・F・不二雄ミュージアム、東京駅キャラクターストリート



お食事も
大切な時間です。

遊ぶ時は全力で



2025年1月23日～1月25日：2泊3日

福島県より、病児とごきょうだい、ご両親の4名をご招待いたしました。病児もきょうだいと一緒にアトラクションを体験し、病児もたくさんの反応を見せていました。家族旅行ができたこと、ミッキーに会えたことなどで感動され涙されている姿がとても印象的でした。

【旅程】

- 1日目：東京ディズニーランド
- 2日目：東京ディズニーシー
- 3日目：チームラボボーダレス



2025年2月27日～3月2日：3泊4日

大阪府より、病児とごきょうだい、ご両親の4名をご招待いたしました。わたがしやお蕎麦などおいしそうに笑顔で食べて初めて体験もしていただきましたし、様々なアトラクションなども楽しんで頂きました。また、チャリティグッズ販売の時期がかぶったことでみなでお揃いのグッズを身につけて写真撮影できたことも印象に残っています。

【旅程】

- 1日目：原宿、浅草(もんじゃ焼き)、スカイツリー(写真撮影)、ソラマチ
- 2日目：東京ディズニーシー
- 3日目：東京ディズニーランド
- 4日目：東京タワー



2025年4月15日～4月18日：3泊4日

沖縄県より、病児とご両親の3名をご招待いたしました。家でほうきに乗る練習など頑張り、ハリーポッターのほうきの撮影ではお父さんと一緒に体験できたことや初めてコースターに乗って笑顔で声出して笑って楽しんでいたのがとても印象的でした。

【旅程】

- 1日目：ワーナーブラザーズスタジオツアー-東京
- 2日目：東京ディズニーシー
- 3日目：東京ディズニーランド
- 4日目：スカイツリー(写真撮影)、ソラマチ

おでかけ支援 (日帰り旅行支援)

今年度より日帰り旅行支援も始めました。

これまで全国から東京エリアへのご招待を主として活動してきましたが、関東・東京エリアにお住まいのご家族への支援にも取り組みたいと考え、自分たちだけではなかなか行けなかった場所へのおでかけ支援として、まずはミュージカル観劇をご希望される2家族をご招待いたしました。

2024年11月13日：劇団四季 美女と野獣

茨城県より、美女と野獣の大ファンである女の子(病児)とそのご家族をご招待。病児と同じ難病を患う兄とご両親とお祖母さんの5名と、彼らをサポートしてくれる複数の医療関係者(訪問診療医、訪問看護、福祉車両ドライバー等)での大移動となりました。ずっと行きたかった劇団四季の美女と野獣を劇場で観られて「夢が叶って嬉しかった」と話してくださいました。



2025年4月6日：劇団四季 アラジン

東京都より、お歌が大好きな病児とお姉さんにご両親を、劇団四季のアラジンにご招待。病児は目をキラキラさせて最初から最後までミュージカルを愉しんでいました。お姉さんも音楽が大好きなので大満足！春休みということで、久しぶりに家族そろってのおでかけとなり、終始和やかな素敵な時間を過ごしていただきました。



「ご支援、ご寄附くださった皆様へのご家族からのメッセージ」

今回は旅行に際し、ご寄附を賜りました企業様へ心より感謝申し上げます。障害のある病児との旅行では、医療器具の持込みや移動など、様々な面で困難が伴います。体調変化にも対応できるよう、目的地であるディズニー周辺のホテルや移動の際の車椅子対応タクシーの手配は高額になるため、支援者の方々からのご寄附により、安心して旅行をすることができました。また、航空機への医療器具の持込み手続きや宿泊先での医療機器に関する設置の調整も、私たちにとって大変貴重な経験となりました。今後も障害を持つお子さんを抱えるご家族が安心して旅行を楽しめるよう、皆様からの温かいご支援を賜り、多くのご家族が楽しい思い出を作る事を願っております。

初めてこういうご支援があることを知った時は、こんなに優しい人達と夢のようなお話があるんだと感動し、涙が止まりませんでした。もし病児が行けたならどんなに嬉しいか、、、と想像するとさらに涙が止まらず、、、実現出来て、楽しさと優しさでいっぱい思い出は私達家族にとって大きな糧となっています。

夢だったのでは…と思うくらい、キラキラした尊い4日間でした。800gで生まれ、育児も医療ケアも何も分からない中始まった生活。正直苦しいことの方が多く、何度病児と消えてしまいたいと思ったことか。でもその時々温かい方たちが手を差し伸べてくれます。家族、お医者様、看護師さん、ヘルパーさん、学校の先生、施設の方々、そして今回はADADの方やボランティアさん。訪れた場所も勿論ですが皆さんと触れ合えたことが何よりの宝物で、今後の生きる指針を得られました。最後にご寄附くださった方々に深く感謝申し上げます。我が家にとって笑顔の絶えない忘れ得ぬ4日間でした。

ボランティアのご家族の皆様、折角のお休みの日を見ず知らずの私達のために送り出してくださったこと誠にありがとうございます。幸せな1日でした。



今回は東京旅行にご招待頂きありがとうございます。色々な方々のサポートがあり、夢を叶えることが出来ました。旅行中は、初めての体験ばかりで子どもたちの色んな表情を見ることが出来ました。家族全員で楽しい思い出が出来ました。このような旅行に行ける機会を頂き、感謝申し上げます。

この度は夢のような4日間をありがとうございました。病児の病気が進行していくにつれて、家族で外出する時は病児の体調を考えなくてはならないようになりました。今回の旅行では、ADAD事務局が私たち家族の希望に沿って旅行プランをたててくださり、また、いつも病児に合わせて生活してくれているきょうだいにスポットをあてて、家族皆が楽しい時間を過ごせるようにと考えてくださいました。旅行中の子どもたちのキラキラした笑顔は本当に嬉しそうで、私のパワーとなりました。ボランティアの皆様にも毎日たくさんのサポートをしていただき、本当に幸せな時間を過ごすことができました。その温かい心に感謝の気持ちでいっぱいです。今回の旅行に関わって下さった全ての皆様に感謝いたします。

2月に脳幹腫瘍と診断され、余命1年と宣告を受けてから現実を受け入れられない入院生活でした。放射線治療、抗がん剤治療を行い、ハネムーン期と呼ばれる歩ける時期に病児に何をしたいか、病児が「飛行機に乗ってみたい」「東京に行ってみよう」と言っていたことを思い出して今回の旅行が叶うことが出来ました。ご支援のおかげでディズニーに初めて家族旅行が出来ました。夢のような時間を楽しませて頂きました。ご支援頂き感謝してもきれません。本当にありがとうございました。

この度はとても素晴らしい旅行を経験させて頂き本当にありがとうございます。朝から夜まで全力で楽しめたのは、ボランティアの皆様のおかげと思っています。このような素晴らしい体験ができる家族がどんどん広がっていけば嬉しいです。最後になりましたが、ご支援頂いている寄付者様や企業様に深く感謝します。本当にありがとうございました。

